

2016年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	建築・デザイン						
科目名	建築設計Ⅲ						
科目区分	専門	単位数	4	開講時期	30		
必修・選択の別	必修選択						
担当者	井原・井上・清原・						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模用途の建築をデザインし建築構造ならびに建築設備等の技術的検討を加えることができる。(B6) ・建築の条件と敷地の条件を的確に把握できる。(B6) ・建築の全体と関係付けて細部のデザインを行うことができる。(B6) ・設計された案を適正にプレゼンテーションすることができる。(A7,B6) 						
日程と内容	<p>第1回：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法、設計のまとめ方等</p> <p>第2回：課題－1「展示施設」 課題の理解。資料配布</p> <p>第3回：エスキス指導－敷地条件の理解・建築と条件の確認と立案</p> <p>第4回：エスキス指導－機能条件の理解・動線処理と機能構成による立案</p> <p>第5回：エスキス指導－構造計画と設備計画による立案。エスキスの提出</p> <p>第6回：立体構成－断面による空間構成・プレゼンテーション</p> <p>第7回：図面提出・プレゼンテーションならびに講評</p> <p>第8回：課題－2「教育施設」 課題の理解。資料配布</p> <p>第9回：エスキス指導－敷地条件の理解・建築と条件の確認と立案</p> <p>第10回：エスキス指導－機能条件の理解・動線処理と機能構成による立案</p> <p>第11回：エスキス指導－構造計画と設備計画による立案。エスキスの提出</p>						
成績評価基準	定期試験 臨時試験		実技 部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題 演習		計		100%		
授業到達目標の達成度	<p>中規模用途の建築をデザインし建築構造ならびに建築設備等の技術的検討を加えることができる。(B6)</p> <p>・建築の条件と敷地の条件を的確に把握できる。(B6)</p> <p>・建築の全体と関係付けて細部のデザインを行うことができる。(B6)</p> <p>・設計された案を適正にプレゼンテーションすることができる。(A7,B6)</p>						
反省点	出席状況は良好であり、受講者も授業時間内に積極的にエスキスを行っている。ただし、時間内に完成させるといふスケジュール管理が難しいようで、全体を見ながら計画的に出来ていない						
来年度の計画	来年度は少し課題内容を軽くしてじっくり考えられる時間を取りたいので、課題の簡素化、提出物の簡素化をはかりたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	教員4名で60名近くを見ているために180分で15名のため1人当たり10分程度となる。不足分は授業時間外に質問に来てほしい。なお、学生相互に相談しても良いので、不明箇所をほったらかしにしないようにしてほしい。						
履修登録者数	58名	定期試験 受験者数	58名	合格者数	57名	合格率	98%